



外国出張報告書

平成27年11月12日

1. 出張国名 タイ
2. 出張月 平成27年10月
3. 出張目的 東北タイにおける低適性土壌改良試験に係る現地測定：C

4. 成果の概要

コンケンにおいて2014年7月から開始した、保水性の低い砂質土壌の苗畑に土壌改良資材（ベントナイト・炭）を添加してチーク苗を植栽する試験について、今回の出張では雨季の終わりの頃のチークの成長と光合成速度、水利用特性に関する測定を行った。その結果、2015年7月と同様の高い土壌含水率を示し、光合成速度は午後に入っても高い値を維持していることが分かった。また、明け方の水ポテンシャルは高い値を示し、水ストレスは受けていなかった。処理区間で比較すると、チークの成長については、肥料とベントナイトを添加した処理区で高い樹高を示した。また、この処理区のチークは高い光合成速度を示し、葉のクロロフィル濃度の指標であるSPAD値も高かった。この処理区では、2015年7月に実施した追肥の効果によって、より多くの窒素が吸収されたことによって高い成長、光合成速度とSPAD値を示したと推察される。